



「放射性汚染がれき処理問題」について

「放射性汚染物質については、当該地域で処理すべきです」

東京大学アイソトープ研究所所長・児玉龍彦教授

「放射性汚染がれき処理」について、NHK番組「ニュース深読み」で、東京大学アイソトープ研究所所長・児玉龍彦教授や東京大学大学院・森口祐一教授が、「現地処理が鉄則」と発言しています。児玉教授は、国会で政府の対応の遅れを猛烈に抗議したことでも知られ、福島県で除染活動を精力的に行っている人物です。



(児玉教授コメント抜粋)

「セシウムは100年で10分の1にまで減少するので、汚染物質は100年ぐらい持つコンテナに入れ、人工バリア型処分場で保管します」

「自宅での汚染物質はコンテナに入れ、庭があれば、庭に埋めます」

「公共の場所で出たものは、住民の同意を得て、人工バリア型処分場で処分します」

「放射性のゴミの場合は、仮置はなるべく避けさせていただきたい。各地の自治体において善意で仮置を引き受けてしまっています。これに対しても住民全体の合意で、速やかに仮置から恒久的な人工バリア型処分場に移す処置をして、国は引き受けてくれた自治体の善意にきちんと応えてあげていただきたいです」

その根拠については詳細が以下のサイトに載っています。
ぜひご覧ください。

<http://savechild.net/archives/8842.html>

の経費ですむ。玉手山公園を活性化することは、近畿国分駅周辺の活性化にもつながる。それから、公共施設の乱立である。JR柏原駅前の栄吉ビル(賃貸専用)にできた「市民交流ひろば」により、「K1ホール」(市民プラザ)(JR柏原駅前アゼリア柏原)、「文化センター」(柏原市立図書館)の利用者が減少し

みんなの
声
募集中です。



電話 072-977-5502
FAX 072-977-8782

〒582-0026 柏原市旭ヶ丘2丁目4番25号
info@kashiwara-mihariban.com

岡本市长は、平成22年度の柏原市の財政が7億円の黒字だと発表している。確かに22年度は黒字だが、その要因は、国より5億円の交付金が支給されていましたからである。

「45億円の積立金が16億円に!? 震災で交付金がカットの可能性も」

発言は、建て替えのためにプールしていた「庁舎積立金」という基金を取り崩していたからだという事実を認めた。18年には45億円(30億円とも)と記載されていたが、16億円? ほどまで減ってしまった。

たとえ交付金がこれから出ても、少子高齢化による人口減少で交付金や補助金等も今後どんどん減額されいくことが考えられる。柏原は一時120億円ほどあった市税がどんどん減少し、

現在90億円程といわれている。高齢化による医療・介護等による経費の増大と多くの問題が山積みとなる。市民負担の少ない豊かな暮らしを考えるなら、「無駄な経費の削減」である。

里山公園よりは近くの玉手山公園を

がら空きの公共施設を統廃合

「無駄な経費の削減」の一つとして、竜田古道・里山公園がある。利便性がなく、訪れる人はまばらだ。このように送迎が必要な場所を、あやしいウサも聞くNPO法人など

に管理させ、数億の経費を使う必要があるのだろうか? それなら、年間11万人もが訪れる玉手山公園に力を入れるべきである。費用も年間2千万円程で、里山公園の十分の一

に「市民交流ひろば」が設がすでに集まっていたのに「市民交流ひろば」ができたのはなぜ? 社会福祉協議会の不審な動き、栄吉ビル運営の賛美商事に毎月30万円支払われていることなど、ナゾも多い。

「数字に強い」と豪語していた岡本市长だが、柏原市は損しないと自信たっぷりに言った「サンヒル柏原」も経営実態は赤字である。果たして来年は利益を生みだすことが出来るのか、お手並み拝見である。

1947年に地方自治法が制定され、二元代表制が続いている。二元代表制とは、その地域の住民が、首長(市長)と議員をそれぞれ直接選挙するシステムである。首長と議員の意見がばらばらで、政策がなかなか進まないという弊害もあることとは思えない。

利点は大きい。中には市長の案件に賛成した者もいたが、今回の議員の態度は二元代表制を重んじた毅然とした態度で安心した。

柏原市の財政が危機を迎えており、今まで黒字であると発表していたが、それは市庁舎建て替えの積立金をくずし、赤字の穴埋めをしてきたからである。誰も行かない里山公園などムダな出費を抑えなければ、柏原市は財政難で財政再建団体に陥る可能性もある。

実質、赤字が続いて、「庁舎積立金」をとりくずしていったということなのだ。23年度に関しては、交付金が支給されるかどうかはなかなか難しいと思われる。東日本大震災による災害復興のために驚愕の財源が必要とされるので、市町村に対する交付金、補助金がカットされる可能性が高い。

現在90億円程といわれている。高齢化による医療・介護等による経費の増大と多くの問題が山積みとなる。市民負担の少ない豊かな暮らしを考えるなら、「無駄な経費の削減」である。

里山公園よりは近くの玉手山公園をがら空きの公共施設を統廃合

「はまうら佳子の元気が出るコラム

「柏原ぶどうマラソン」ってどう?

最近はあちらこちらでマラソンを楽しむ人を見かけます。おしゃれなウエアに身を包み、さっそうと走る市民ランナーたち、けっこ多いですよね。

マラソン大会もこの秋、各地で開かれましたね。

そんな中で私が注目したのが「第1回神戸マラソン」です。テーマは「感謝と友情」。震災復興した神戸から、「災害で

たいへんな被害を受けている人々や地域へエールを送るマラソン」で、東日本大震災で被災した宮城県のランナーも参加したそうです。「みんなに感謝の気持ちを示すために参りました。楽しく走りましょう」とあいさつし、阪神大震災で被害にあったランナーとエール

を交換した、とも謀新聞に載っていました。ええ話ですね~、泣けるわ。

都会で行う大会は、交通規制や警備もたいへんだけと思うけれど、すごい人気なんだそうですね。

でもそれぐらい人が集まつたら、町おこしのイベントになりますよ!

そこで私が思いついたのが、大和川の川沿いを走る「柏原ぶどうマラソン」! 市民だけでなく、全国からランナー呼ぶんです。沿道には、ランナーのために「柏原ぶどう」を置いて食べてもらいます。柏原ぶどうのPRにもなるし、いいアイデアだと思います

あ、ダメ?

ち帰りの案件にならなかったが当然拒否され、議会にかけられることなく、市長が取り下げた。◆3回目もまた、どこか頭に病気になると、どこか頭に病気でもあるのではと真剣に疑ってしまう。常人のやることは思えない。

M氏である。◆各会派持ち帰りの案件にならなかったが提出された。候補に挙がったのは、過去3回、市議会から否決されたあのM氏である。

◆各会派持ち帰りの案件にならなかったが提出された。候補に挙がったのは、過去3回、市議会から否決されたあのM氏である。

◆各会派持ち帰りの案件にならなかったが提出された。候補に挙がったのは、過去3回、市議会から否決されたあのM氏である。



チ
エ
ン
ジ

かしわら見
張り番

パトロール

先日、柏原市議会の幹事長会議が行われた。そこで市長から